

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名 称	会計	コード	名 称
762		畜産振興事務経費	01	01	一般会計
基本施策	43	伊賀ブランドの価値を高め、売り出す	06	06	農林業費
			01	01	農業費
			08	08	畜産業費
担当部課名		青山支所産業建設課	101	101	畜産振興事務経費
作成者氏名	山内 敏	連絡先	52-3220	01	畜産振興事務経費
			細々目		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	青山畜産連合会補助、畜産農家	畜産農家の経営改善・安定に資する。
本年度事業内容	当管内には酪農家4、養鶏家3、肉牛1の農家があるが、これらの農家で組織する「青山畜産連合会」の活動(環境対策、獣魂祭の開催、研修会の開催、ふれあいフェスタへの参加等)に対し、指導・助成している。	
開始年度	平成 年度	終了年度 平成 年度
		根拠法令・要綱等
		伊賀市補助金等交付規則

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	100	150	150
	委託料			
	補助金	100	150	150
	その他			
合計(A+B)		820	870	870
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担 その他特財			
一般財源		820	870	870
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
連合会主催行事に対する参加者数	人	21	30	30			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
技術改善した農家数	畜産農家の経営改善には、情報の提供が欠かせない。また、同業農家との情報交換の機会になることから、不可欠。	人	21 目標 (40)	30	30
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

当管内の畜産農家戸数は年々経営環境の悪化から、減少している。とりわけ、糞尿処理に対する投資的経費の増大はどの農家も経営を圧迫している。しかし、経営規模の拡大による収支バランスの改善も経営者の高齢化等で困難な状況にある。今後はバイオテクノロジーをはじめとする新技術の積極的な導入を検討し、経営の改善を指導していく。

評価	必要性	4	最近の畜産指導は1も2も環境対策であり、この問題を解決するかしないかによって、将来が左右されるため、最新技術情報は提供により経営改善を促す。	総合評価 A
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		